

事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産業部
	04029-1	廃棄物収集事業	室名	廃棄物対策室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	03:循環型社会の形成・エコシティの実現	務	款 衛生費
施策体系	施策の方向	04:ごみの適正処理の推進	科	項 清掃費
	戦略プロジェクト		目	目 塵芥処理費

② 目的・概要	対象	市民
	目的	市域から発生する家庭ごみの分別収集や自治会が管理する塵芥集積施設の設置等にかかる補助金を交付することで、ごみの適正処理と資源物の回収を行うとともに、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭ごみの分別収集と運搬(一般ごみ、破碎粗大ごみ、可燃系及び不燃系資源ごみ、ペットボトル・白色トレイ)</li> <li>高齢者等世帯の粗大ごみ軒先収集</li> <li>塵芥集積施設の設置費等にかかる補助金の交付</li> </ul>	

		27年度	28年度
①	名称	家庭ごみの収集運搬量	計画値
	補足	家庭ごみ分別収集と運搬業務の実施 高齢者等世帯粗大ごみ軒先収集業務の実施	実績値 10,272.71 単位 トン
②	名称	補助金の交付件数	計画値
	補足	塵芥集積施設設置費等補助金の交付	実績値 4 単位 件
③	名称		計画値
	補足		実績値 単位
④	名称		計画値
	補足		実績値 単位

年度計画				年度実績			
④ 事業の計画・実績				【家庭ごみの分別収集と運搬】 一般ごみ 205日/年、破碎粗大ごみ 46日/年、 資源ごみ 93日/年、ペットボトル・白色トレイ 48日/年 合計収集運搬量 10,267.18トン  【高齢者等世帯粗大ごみ軒先収集】 収集日数・収集件数・収集量 34日/年・42件・5.53トン  【塵芥集積施設設置費等補助金の交付】 補助金交付件数 4件(新設1件、改修3件)			
	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	1,062
	国庫支出金				一般職員人件費 ②	1,062	平均給与額×③
	県支出金				所要人員 ③	0.14	
	地方債				臨時職員人件費 ④		
	その他		27,588	28,168	受益者負担額 ⑤		
	一般財源		140,026	137,575	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
	再掲	翌年度への繰越額					
		前年度からの繰越額					
		総人件費		①	1,062		
	総コスト		⑥	166,805			

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	市域から排出された家庭ごみを生活環境に支障を及ぼすことがないように迅速かつ安全に収集運搬した。 塵芥集積施設設置費等補助金の交付においては、自治会からの全申請に対して、速やかに補助金を交付することで、生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与することができた。 また、高齢者等世帯の粗大ごみ軒先収集においても、申込者全案件に対して、健康福祉部及び委託業者と連携し迅速に収集運搬することで、一般廃棄物の適正処理と高齢者等世帯の在宅支援に寄与することができた。	総合判定
			<b>B</b> まずまず進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	本事業では、毎年、家庭ごみの収集運搬業務委託やごみ収集カレンダーの作成などに多額の経費を要している。収集業務の手法検討による経費削減や歳入確保による経費充当を検討することが必要である。
---------	----------	--

⑤ 事業の評価	【改善の方向性】	近隣自治体の状況も確認の上、市民サービスの影響も十分考慮し、家庭ごみ収集の頻度を検討するとともに、有価物として売却可能な資源ごみ収集の拡大やごみ収集カレンダーへの広告掲載により歳入の確保に努める。
---------	----------	--

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 廃棄物対策室長 谷口 広幸
--------------	---------	------------------------